

人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト

第10回ワークショップ「いのちを大切にできる社会を目指してー学術と大学の役割」

用語集：

▶**スマートディストピア**

スマートシティとディストピアを合わせた造語。本プロジェクトのWS08のテーマ。

▶**比較優位**

各国が自国内で最も優位な産業に特化して貿易を行うことによって、貿易参加国すべてが利益を得られるという経済学説。

▶**ジャン＝フランソワ・リオタール (1924-1998)**

フランスの哲学者。「大きな物語の終焉」「知識人の終焉」を唱え、ポストモダンの正負両面を論じた。

▶**ジョージ・オーウェル (1903-1950)**

イギリスの作家・ジャーナリストで、民主社会主義者。全体主義的ディストピア世界を描いた『1984年』の作者。

▶**アーヴィン・ラズロ (1932-)**

ハンガリーの哲学者。科学と哲学を学んだ経験から、原子の世界から人間の社会、宇宙までを貫く原理とその構造を探究する「システム哲学」を提唱した。

▶**ウォーム・グロー (warm-glow giving)**

経済学における概念。他者への支援活動に関して、他者の喜びを感じる（純粋利他性）によってではなく、支援行為自体から喜びを感じる。

▶**宿痾 (しゆくあ)**

長く治らない病気。

▶**ピーター・シンガー (1946-)**

功利主義の立場から倫理の問題を探求するオーストラリアの哲学者。

▶**中根千枝 (1926-2021)**

社会人類学者。『タテ社会の人間関係』(1967)で、日本の社会・組織の特質を浮き彫りにした。

人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト

第10回ワークショップ「いのちを大切にする社会を目指して－学術と大学の役割」

▶フランシス・ヨシヒロ・フクヤマ (1952-)

アメリカの政治学者・政治経済学者。著書『歴史の終わり』で自由民主主義と自由市場を文化的進化の最終形態と論じた。

▶EBPM

Evidence Based Policy Making の略。厳格に立証された客観的な証拠に基づいて政策決定すること。

▶ニクラス・ルーマン (1927-1998)

ドイツの社会学者。主著は『社会システム理論』(1984)。「システム」の概念をめぐってユルゲン・ハーバーマスと論争を繰り広げた。

▶宮本常一 (1907-1981)

日本の民俗学者。柳田國男の影響を受け、日本各地をフィールドワークし、膨大な記録を残した。

▶守破離 (しゅはり)

日本の茶道や武道などの芸道・芸術における師弟関係のあり方の一つであり、それらの修業における過程を示す。